

Hello, English! (5時間)

本単元における小学校英語活動を生かした指導

本単元のあいさつや動作の活動は小学校英語活動ですでに慣れ親しんでいる。そのため、小学校英語活動と類似した活動を行うことは、初めて取り組む英語科の学習に対する抵抗感を和らげることになる。また、小学校英語活動でのあいさつや動作の表現を思い出し活動を行うことは、表現の定着を図ることにつながる。その際、小学校英語活動で親しんだゲーム（例えば Simon Says）と文字を取り入れた活動を組み合わせることにより、文字を伴う学習へも無理なく取り組むことができると考える。また、各時間とも、遊びの要素をたくさん取り入れ（カルタ、ピンゴなど）、楽しく活動することにより、英語学習に対する興味・関心を持続できるようにしたい。基本的に授業は小学校英語活動と同様、英語のみで行うようにし、文字導入の際、文字と音の関係をとらえることができるように、フォニックスを活用し、小学校英語活動で慣れ親しんだ単語を扱うことにより、少しでも書くことへの抵抗を少なくするよう工夫する。

1 目標

- ・ 英語の音や文字に関心をもつ。
- ・ 簡単なあいさつができる。
- ・ 教室で先生が使う英語の指示が理解できる。
- ・ 身のまわりにある英語を通して英語と日本語の音の違いを知る。
- ・ アルファベットの読み書きができる。
- ・ 単語の中でのアルファベットの読み方について知り、いくつかの単語の読み書きができる。

2 評価規準

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
聞くこと	(言語活動への取組) 英語の音に関心をもって聞いている。 (コミュニケーションの継続) 理解できないところがあっても、推測するなどして聞き続ける。		(正確な聞き取り) 身のまわりの単語や英語のあいさつを正しく聞き取ることができる。 (適切な聞き取り) クラスルームイングリッシュを聞いて、適切に対応できる。	(言語についての知識) 英語と日本語の音の違いに気付く。 (文化についての理解) Mr. Mrs. Miss について理解している。
話すこと	(言語活動への取組) 間違いを恐れず積極的に英語を話そうとしている。 (コミュニケーションの継続) 教師や友達のあいさつに対して、積極的に答えようとしている。	(正確な発話) 強勢に気を付け、英語らしく正確に発音することができる。 (適切な発話) 相手に分かるようにあいさつなどの英語を話すことができる。		(言語についての知識) 英語と日本語の音の違いについて知識をもっている。 (文化についての理解) 授業のあいさつの日英の違いなどを理解している。
読むこと	(言語活動への取組) 「身のまわりの英語」「単語」で学ぶ英語に関心を持ち、読もうとしている。	(正確な音読) 正しい強勢など、英語の特徴に気を付けながら音読することができる。		(言語についての知識) 単語の中でのアルファベットの読み方の知識をもっている。
書くこと	(言語活動への取組) 名前や地名をアルファベットで書こうとしている。	(正確な筆記) アルファベットを正しく書くことができる。		(言語についての知識) 大文字、小文字を使い分ける知識をもっている。

本単元は入門期の指導であり、英語の音に対する指導が主となるため、「読むこと」と「書くこと」においては、理解の能力についての評価は行わない。

3 指導と評価の計画

(網掛けは、小学校英語活動を生かした活動・指導)

時間	ねらい()と 学習活動()	指導上の留意点及び支援の工夫 「おおむね満足」に達していない生徒への手だて	単元の 評価規 準との 関連	具体的評価規準 A「十分満足」 B「おおむね満足」 (評価方法)
1	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>① Hello song を歌う。</p> <p>英語のあいさつ表現を身に付ける。</p> <p>② さまざまな状況の絵を見て状況に合うあいさつをペアで練習する。</p> <p>クラスルームイングリッシュを理解する。</p> <p>③ Simon Says Game で英語の指示に素早く的確に反応する。</p> <p>④ 自己評価シートに本時の取組を書く。</p>	<p>小学校英語活動を思い出せるように、教師も表情豊かに歌う。</p> <p>場面に合った会話を行えるように、朝、昼、夜、健康状態を表す絵を用いる。 基本のあいさつが定着するように繰り返し練習をする。</p> <p>聞き慣れた表現から始めるために、小学校英語活動の言語材料を使う。 ピクチャーカードを利用し、理解を助ける。</p>	ア イ ウ エ	<p>簡単なあいさつができ、クラスルームイングリッシュを理解している。 A 英語らしい強勢、リズムであいさつができ、英語での指示に従える。 B 英語であいさつができ、指示にも従える。 (観察、自己評価カード)</p>
2	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>⑤ The ABC Song を歌う。</p> <p>前時の復習をする。</p> <p>⑥ 与えられた状況にあったあいさつや表現を復習する。</p> <p>英語と日本語の音の違いを知る。</p> <p>⑦ カタカナ英語になっている物を見て、英語の言い方を聞いたり、発音したりする。</p> <p>⑧ カタカナ英語をつづりを見ながら発音する。</p> <p>⑨ 絵単語カルタをする。</p> <p>⑩ 自己評価シートに本時の取組を書く。</p>	<p>文字と音を結び付けるために、大文字、小文字のカードを示す。</p> <p>文字と音との関係に興味をもてるように、すべての表現を文字で表すようにする。</p> <p>ALT の口をよく見て、聞こえたとおりに発音するよう助言する。 小学校英語活動で親しんでいる単語を使用し、カタカナ英語にならないように、文字は示さず実物や絵で提示する。 発音の違いに注意できるように個々に指導する。</p> <p>文字と音の関係に興味をもてるようにするため、頭文字を色で示す。 カルタには絵とともにつづりものせ、文字に興味をもてるようにする。</p>	ア イ エ	<p>カタカナ英語と実際の英語では発音の違いがあることに気付いている。 A 発音の違いに気付き、英語の特徴に気を付けながら発音している。 B 発音の違いに気付き、英語の特徴に気を付けながら発音しようとしている。 (観察、自己評価カード)</p>
	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>⑪ The ABC Song を歌う。</p>	<p>文字を意識できるように、歌う</p>		

3	<p>前時の復習をする。</p> <p>12 8 の単語を絵と文字を見ながら発音する。 アルファベットの名前と書き方を知る。</p> <p>13 大文字、小文字のアルファベットカルタをする。</p> <p>14 英語ノートに大文字、小文字の練習をする。</p> <p>15 アルファベットピンゴをする。</p> <p>16 アルファベットの大文字、小文字の書き取りクイズをする。</p>	<p>時にはアルファベットカードを示す。</p> <p>頭文字と発音に気を付けながら英語らしく発音するように助言する。</p> <p>アルファベットの順番や小文字の形をしっかりと理解できるように繰り返し行う。 教科書を見ながら活動に取り組むよう助言する。</p> <p>文字だけでなく単語を意識できるように、慣れてきたら単語で示すようにする。 自分の力に応じて選べるようにレベル別のプリントを用意する。 教科書で調べながら取り組めるようにする。</p>	<p>ア エ</p> <p>イ</p>	<p>アルファベットの大文字、小文字を使い分けている。</p> <p>A 大文字、小文字を使い分けて、読んだり書いたりしている。</p> <p>B 大文字、小文字を使い分けて、読んでいる。 (観察、ノート)</p> <p>アルファベットを正しく書くことができる。</p> <p>A 大文字、小文字をすべて正しく書くことができる。</p> <p>B 大文字、小文字をほとんど書くことができる。(ワークシート)</p>
4	<p>英語学習への意欲をもつ。</p> <p>17 The ABC Song を歌う。</p> <p>前時の復習をする。</p> <p>18 アルファベットの大文字、小文字を聞いて書く。 音と文字の関係を理解する。</p> <p>19 文字を見ながら単語を発音する。</p> <p>20 Phonics Alphabet を練習し、Phonics Alphabet Song を歌う。</p> <p>21 発音を聞き、頭文字の抜けている単語のつづりを完成させる。</p>	<p>文字を意識できるように、歌う時にはアルファベットカードを示すようにする。</p> <p>聞き取るときは ALT の口元に注意するよう助言する。</p> <p>文字と音の関係を確かむことができるように、8 で使用したカードを使う。 アルファベットの名前と読み方は異なることに気付けるように歌を導入する。 頭文字が推測しやすいように、小学校英語活動で親しんでいる単語を使用する。 フォニックスの規則の表を使用して取り組めるようにする。</p>	<p>ア エ</p>	<p>単語の頭文字のアルファベットの読み方が分かる。</p> <p>A 単語を聞いて頭文字を書くことができる。</p> <p>B 単語を聞いて頭文字を推測することができる。 (ワークシート)</p>
	<p>前時の復習をする。</p> <p>22 Phonics Alphabet Song を歌い、アルファベットの読み方を練習する。 単語の読み書きができる。</p> <p>23 A ~ Z までの単語を聞いたり読んだり、書いたりする。</p>	<p>文字と音の関係を確かめるように、歌うときには頭文字が色つきの単語を示すようにする。</p> <p>活動が単調な繰り返しにならないように、リズムに合わせて行ったり、絵カードとフラッシュカードを組み合わせて行ったりする。</p>		

<p>5</p> <p>24 単語のつづりを見て推測して読む。</p> <p>25 音を聞き、単語のつづりを推測して並べるアルファベット並び替えゲームを行う。</p> <p>26 自己評価シートに本時の取組を書く。</p>	<p>推測しやすいように、音として知っている単語や<small>小学校英語活動</small>で触れた英語を扱うようにする。</p> <p>ヒントとして絵カードを使用できるようにする。</p> <p>音から文字を推測できるように、フォニックスの基本的なルールのもを取り上げるようにする。</p> <p>つづりに必要な文字のみを使って並び替えができるようにする。</p>	<p>ア イ エ</p>	<p>単語の中でのアルファベットの読み方が分かる。</p> <p>A 単語を推測して読むことができ、頭文字のつづりなども推測することができる。</p> <p>B 身近な単語を推測して読むことができる。</p> <p>(観察、ワークシート、自己評価カード)</p>
---	--	----------------------	---

小学校英語活動を生かした指導に関わる 3 時間分

英語科学習指導案 (Hello, English!) 第 1 時 1/5

本時における小学校英語活動を生かした指導

初めての英語科の授業には、緊張や不安を感じる生徒が多いと思われるので、中学校の学習は小学校からの引き続きの学習であり安心して自信をもって取り組みそうだという意識をもつことができるように、活動は小学校英語活動と類似したものから行っていきたい。小学校英語活動で触れた表現などの復習を大切に、教師が教え込むのではなく、生徒からさまざまな表現を引き出し発表できるようにする。小学校英語活動同様、音声重視の指導ではあるが、文字も負担にならない程度に示し、文字にも興味をもてるようにし、今後の読んだり書いたりする活動にも、苦手意識や抵抗感をもつことなく取り組めるようにしていきたい。

1 本時の目標

- ・ 英語で簡単なあいさつができる。
- ・ クラスルームイングリッシュを理解する。

2 準備

- ・ CD、対話の絵、ピクチャーカード、自己評価シート

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
3	英語学習への意欲をもつ。	Hello song を歌い、小学校英語活動を思い出す。	英語学習の雰囲気を作るために、楽しく元気よく歌うよう促し、教師も一緒に歌う。 授業は英語のみで行い、理解を助けるためにジェスチャーを多用する。	
20	英語のあいさつ表現を身に付ける。	<p>会話の絵を見て、場面や状況に応じたあいさつの表現を思い出し、発表する。</p> <p>Hello. Good morning. Good night. See you. Goodbye.</p> <p>自分のことや絵に表された場面のあいさつを練習し、ペアや個人で発表する。</p>	<p>場面に合ったあいさつを思い出し、自由に発表できるように、朝、昼、夜の対話場面の絵を提示する。</p> <p>声に出すことを重視し、間違いは指摘しないようにする。</p> <p>様々な状況におけるあいさつも思い出せるように、健康状態や気分を表した絵も用いる。</p> <p>How are you? I'm fine, thank you. (happy, sad, hungry, sleepy)</p> <p>英語らしい発音やアクセントに注意するために、ALT のまねをするよう助言する。 ペアの練習では、場面や状況を示すようにする。</p>	英語で簡単なあいさつができる。
25	クラスルームイングリッシュを理解する。	<p>クラスルームイングリッシュを聞き、理解したことを行動で表す。</p> <p>Sit down. Stand up. Listen. Raise your hand. Close your eyes. Be quiet. Touch.</p> <p>Simon Says Game で指示に素早く的確に反応する。</p>	<p>小学校英語活動で使用した表現を扱い、復習することで、理解を促すようにする。</p> <p>クラスルームイングリッシュで使いたい表現を授業のあいさつの仕方とともに指導する。</p> <p>ピクチャーカードを活用し、理解を助けるようにする。</p> <p>小学校英語活動を思い出し、楽しく活動できるようにし、慣れてきたら文字(つづり)を示してゲームを行うようにする。</p> <p>生徒が英語を発することができるようにクラス単位やグループ単位などゲームのやり方を工夫する。</p>	英語の指示が理解できる。
2	本時の学習を振り返る。	自己評価シートに本時の評価を書く。	間違いを恐れず、恥ずかしがらずに活動に取り組んだか、英語らしくあいさつができたかを振り返りのポイントとして示す。	

本時における小学校英語活動を生かした指導

小学校英語活動では聞こえた通り発音していても、中学という発達段階においてカタカナ英語を使う生徒も出てくると考えられる。そこで、中学校でも英語らしい発音に常に気を付けていくことを確認し、活動に取り組めるようにしていくことが大切である。そのため小学校英語活動で慣れ親しんだ言葉を多用し、英語らしい発音を思い出せるきっかけとしたい。さらに実物を使った指導を取り入れることにより、文字に頼らずに発音することができ、ローマ字読みを防ぐことができると考える。カルタという小学校英語活動の馴染みのあるゲームを取り入れ、楽しみながらたくさんの英語を聞いたり、話したりして、言語材料の定着を図れるようにしたい。さらに、カルタは、文字を使った活動に興味がある生徒にも対応できる活動を行いやすく、個に応じた指導を行ううえで効果的であると考えられる。

1 本時の目標

- ・ 英語と日本語の音の違いを知る。

2 準備

- ・ CD、アルファベットカード、英単語の実物と絵、フラッシュカード、カルタ、自己評価シート

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつをする。 The ABC song を歌う。	英語学習の雰囲気を作るために、英語での授業のあいさつに慣れるようにする。 アルファベットカードを見ながら歌うことで、文字と音を関連付けることができるようにする。	
3	前時の復習をし、文字に関心をもつ。	前時のあいさつなどの表現を練習し、文字として読む。	文字に関心をもつことができるように、音声だけで練習していたあいさつ等の表現を文で提示する。	
25	英語と日本語の音の違いに気付く。 apple, orange, banana, lemon, strawberry pineapple, tomato, pink, red ball, soccer, tennis, swimming computer, curtain, kitchen dog, cat, lion, gorilla	教師の示す実物や絵を英語で言う。 実物や絵を見ながらALTの言い方を聞き、発音練習する。 実物や絵とともにそのつづりを見ながら発音練習する。 文字と音の関係に注意し発音する。	音の違いに気付けるように、カタカナ英語になっているものを取り上げ、できるだけ小学校英語活動で慣れ親しんだ単語から始めるようにする。 ALTの口をよく見て、聞こえた通りに発音するよう助言する。 ローマ字読みの発音にならないように、始めは文字を示さず、実物か絵で提示する。 列、グループ、男女別などいろいろな形で発表させ、たくさん練習する機会を与える。 文字と音との関係に気付けるように、頭文字を色で示すようにする。 フォニックスを活用し、同じ文字同じ読み方の単語をまとめて練習し、文字と音の関係を意識できるようにする。	英語と日本語の音の違いに気付いている。
15		絵単語カルタをする。 班に分かれ、教師の発音した札を聞いてとる。 交代で出題者となりゲームを行う。	カルタには絵とともにつづりものせ、文字を意識できるようにする。 生徒の実態や興味に応じて、つづりだけでカルタを行うようにする。	
2	本時の学習を振り返り、次時への見通しをもつ。	自己評価シートに本時の評価を書く。	英語らしい発音に気を付け、活動に取り組んだかを振り返りのポイントとして示す。	

本時における小学校英語活動を生かした指導

アルファベットの形には小学校英語活動や小学校4学年の国語科の授業においてすでに親しんでいるので、4線を使い特に生徒の苦手である小文字を書く指導において、小学校英語活動のゲーム形式を取り入れ、楽しみながら定着を図りたい。小学校で学習している訓読式ローマ字から始め、ヘボン式ローマ字との違いを示しながら、さまざまなものをローマ字で表現することは、中学英語科学習を意識しながら文字を書くことになり、新たな関心をもって活動に取り組めるので、生徒の書く意欲を向上させることになると考える。評価の場面でも、テスト形式ではなくゲーム感覚で自分のつまずきを確認できるよう工夫したい。書くという活動にゲーム的要素を取り入れることにより、生徒は興味関心をもって取り組むことができると考える。

1 本時の目標

- ・ アルファベットの読み書きができる。

2 準備

- ・ CD、アルファベットカード(大文字・小文字)、英単語の実物と絵、フラッシュカード、ピンゴシート、アルファベット書き取りシート

3 展開

時間	ねらい	学習活動	支援及び留意点	評価
5	英語学習への意欲をもつ。	英語であいさつをする。 The ABC song を歌う。	大文字と小文字の関係を意識することができるようにアルファベットカードを示す。	
5	前時の復習をし、発音とつづりを確認する。	前時使用した実物や絵を見て英語で言う。 カタカナ英語のつづりを見て発音をする。	「身のまわりの英語」と前時で学習したカタカナ英語を頭文字と発音に気を付けて英語らしく読めるように、始めは実物や絵を示し次につづりを示すようにする。 単語のつづりは4線のフラッシュカードで示し、アルファベットの位置を印象付けるようにする。	
5	アルファベットの読み書きができる。	アルファベットの名前を確認し、発音に気を付けて読む。 教師の読むアルファベットの大文字、小文字をカルタで取る。 神経衰弱アルファベットカルタで大文字と小文字を合わせる。	F L M R V Zの発音に気を付けるように助言する。 アルファベットの順番と小文字の形をしっかり理解できるように繰り返し行う。 ゲームの方法を変え何度も取り組むことによりアルファベットに慣れるようにする。	アルファベットの大文字、小文字を使い分けている。
15		教師の板書を見て大文字、小文字をノートに書く。 英語ノートに大文字、小文字の練習をする。 自分の名前を英語で書く。 自宅の住所など、さまざまなものを英語で練習する。	小文字を書く位置に注意するよう助言する。 書き順にも気を付けて丁寧に書くように助言する。 ヒントとしてローマ字表を使用してもよいことを知らせる。 定着を図るために、自分の名前の他、友達の名前や地名などにも取り組めるようにする。 書き方のお手本を示すことで、活動を促すようにする。	
10		アルファベットピンゴシートに大文字や小文字を書く。 聞こえてきた文字に印をつけピンゴゲームを行う。	文字は示さず音のみで行い、MN, LR, GZの違いを確認する。 慣れてきたら単語を読み上げ、頭文字を推測するよう促す。	アルファベットを正しく書いている。
10		アルファベット書き取りクイズをする。 順番に並んだアルファベットを完成させる。	自分の力に応じて選べるレベル別プリントを用意する。 興味をもって取り組めるように、Aから順、Zから順、大文字小文字のペアなどでクイズ形式で出題する。 力のある生徒は教師の読み上げたアルファベットを書く活動に取り組むよう促す。	